

登場人物どうしの心情や関わりの変化をとらえて読み、感想を書こう

1 「春花」と「勇太」はどんな人物か、人物の性格や持ちようがわかるところをたしかめながら「なまえつけてよ」を音読しましょう。



大切！
人物の性格や持ちようのことを「人物像」といいます。

大切！
人物が思ったり感じたりしていることを「心情」といいます。



ステップ1（とらえよう）

2 「春花」と「勇太」は、おたがいにどんな心情をいだいているでしょうか。それぞれの日ごとの心情を想像して表にまとめましょう。

3日目		2日目		1日目	
春花		会話や行動		・「牧場に子馬がいるんだけど、気がついた。」春花はきいてみた。 ・「なによ、その態度。」と言いつつになつたけれど、春花は言葉をぐっと飲みこんだ。	
		心情		・「勇太」に対する ・「春花」に対する	
勇太		会話や行動		・目を合わせない。ただ、足元を見ている。 ・顔を上げて、ちらっと春花の方を見た。でも、すぐに目をそらした。 ・「もう行こう。」 ・ぶいっと向きを変えて、歩き出した。	
		心情		・「春花」に対する ・「勇太」に対する	

本文の言葉を使って書く。長くなる場合は、短くまとめてもよい。すべて書くのではなく、心情が分かる言葉を選んで書こう。

会話や行動（本文の言葉）をもとに想像して書こう。

※春花の「会話や行動」に同じ。

※春花の「『勇太』に対する心情」に同じ。

3 二人の関わりの変化と題名とのつながりについて考えましょう。この物語の題名は、なぜ、ひらがなの「なまえつけてよ」なのでしょう。考えを書きましょう。

題名

「名前、つけてよ。」

なまえつけてよ。

一日目の場面

三日目の場面

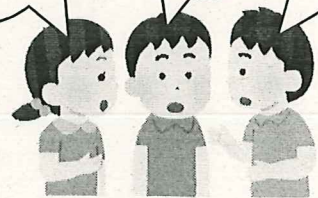
牧場のおばさんが、春花にたのんだときの言葉

勇太が春花にわたした、紙で折った馬に書かれていた字

勇太はだんだん自分から春花と関わろうとしているよね。

三日間で、二人のおたがいへの関わり方が変化しているね。

二人の関係が変わったことと、紙の馬に書かれた字は何かつながりがあるのかな。



二人の関係が近づいた？ はなれた？

4 次の三つの観点を中心に、物語を読んだ感想を書きましょう。

- 二人のたがいに對する心情の変化について
- 二人の関わり(関わり方・関係)の変化について
- 二人の関わりの変化と題名とのつながりについて

一つ選んだり、組み合わせたりして書こう。



わたしは二人のたがいに對する心情の変化

二人の関わりの変化

二人の関わりの変化と題名のつながり

について、わたしは、なせそう思ったかというところからです。

教科書二九四ページに「心情を表す言葉」が挙げられています。感想を書くとき、参考にしてみましょう。

★ほかに読みたい物語を選んで読みましょう。

■自分と似ている人物が出てくる本

ぼくも野球のチームに入ったばかりだから、読んでみたいな。



■自分とはことなる立場の人物が出てくる本

わたしにはきょうだいがいないけれど、この本を読むと、きょうだいがいる人の気持ちが分かるかな。



これまでに学習した教科書の物語を、登場人物の心情や関わりの変化に着目して読み返してもいいですね！



★本を読んだら、読書記録をつけましょう。

読書ノートが家にある人は、読んだ本をどんな記録しましょう。

読書ノート

高学年

京都市立

学校

年 組

京都市小学校図書館研究会
京都市教育委員会

冊	ラベル	書 名	著者名	読み終わりの日	感想 ◎○	読んだ ページ	図書館 シール
1				/			
2				/			
3				/			
4				/			
5				/			

学校再会時に
読めるようにしておきます。



霧のむこうのふしぎな町

夏休み、リナは一人で旅に出た。霧の谷の向こうでリナを待っていたのは、へんてこだけれど楽しい出会いだった。



12月の夏休み

ケンタとミノリの父は写真家だ。わすれ物をとどけるために、二人は父を追いかける。



天のシーソー

毎日ですぐ途中で感じる不安、心のゆらぎ。小学校五年生の女の子ミオと妹のヒナコの日常をえがいた物語。



ホームランを打ったことのない君に

「ここぞ」というときにホームランが打てたらな。それは豊のあこがれ。仙ちゃんとなら、熱い思いを語り合える。